



第 54 回

北海道高等学校登山選手権大会

兼第 59 回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会

2015 年 6 月 23 日(火)・24 日(水)・25 日(木)・26 日(金)

風不死岳・樽前山・羊蹄山

主 催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道山岳連盟
後 援 札幌市・札幌市教育委員会・千歳市・千歳市教育委員会
苫小牧市・苫小牧市教育委員会・真狩村・真狩村教育委員会
倶知安町・倶知安町教育委員会・二セコ町・二セコ町教育委員会
主 管 北海道高等学校体育連盟登山専門部
当番校 北海道札幌西高等学校

第54回北海道高等学校登山選手権大会の開催に当たり

当番校・北海道札幌西高等学校
校長 前 川 洋

第54回北海道高等学校登山選手権大会兼第59回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会の開催に当たり、当番校を代表しご挨拶申し上げます。本大会は、顧問の先生方の熱心な指導や生徒の皆さんの努力により、50回を超える大会として大きく発展してきました。本日も、このように全道各地から25パーティー100名もの生徒が集い、盛大に開催できますことは、大会の礎を作ってこられました皆様やこれまで準備に携わってこられました多くの方々の努力の賜であり、当番校として大変うれしく思いますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、皆さんが明日登る「風不死（フップシ）岳」の「フップシ」という山名は、アイヌ語で「トドマツのあるところ」を意味する「フプ・ウシ」「フップ・ウシ」などに由来していると聞いています。その名のとおり、かつてはトドマツが山一面を覆っていましたが、60年以上前の台風で多くが倒れてしまい、その面影だけがところどころ残っています。下山途中の樽前山では、薄紫色の花が咲くタルマイソウ（イワブクロ）の花がそろそろ見られる頃であり、運がよければ、風不死岳に登る途中で、希少種であるアリドオシランが見られるかも知れません。さらに、明後日登る「羊蹄山」は、後方羊蹄山（しりべしやま）として、日本百名山にも選ばれており、ここでも、コメバツガザクラやミヤマキンバイ、イワウメなど挙げたらきりがないほどのたくさんの高山植物が皆さんを迎えてくれると思います。このように、すばらしい山々を舞台に大会を開催できますことは、当番校として、喜ばしい限りです。

また、登山選手権大会は、個人競技ではなく、団体、チームで競うものでありますが、山登りの技術だけの評価ではなく、登山についての基礎知識を問うペーパーテストや天気図の作成、天幕設営、食事に関する審査、行動中の読図や自然に関する口頭試問など、これらを総合的に評価する競技です。このような高体連種目は他に例がありません。日ごろ鍛えた体力だけでなく、知識や判断力などを十分に発揮していただきたいと思います。

結びに、ロープを使って登るなど急な斜面もありますので、事故が起きないように十分に注意するとともに、一人はみんなのため、みんなは一人のために、チーム（パーティー）で協力して、風不死岳や羊蹄山を制覇するようお願いし、当番校の挨拶とします。

大 会 役 員

名 誉 大 会 長	小 野 倫 夫												
大 会 長	藤 岡 二 朗												
副 大 会 長	湯 田 恭 文 澤 口 文 裕 加 島 政 人	佐 藤 眞 小 路 修 司	谷 坂 常 年 山 田 義 弘										
顧 問	秋 元 克 広 西 江 栄 二 柴 田 達 夫	山 口 幸 太 片 山 健 郎 堀 達 也	岩 倉 博 文 佐々木 和 見										
参 与	梶 浦 仁 前 川 豊 志	堀 本 厚 三 条 歩	藤 田 善 治 白 髭 俊 穂										
大 会 委 員 長	前 川 洋												
大 会 副 委 員 長	山 崎 誠	神 山 健											
大 会 委 員	宮 田 真 克 宮 田 五 輪 夫 山 本 亘 彦 夫 常 田 貞 達 夫 加 藤 政 二 柴 田 正 喜 竹 中	土 居 昌 彦 大 友 剛 靖 山 納 秀 俊 内 海 健 一 相 田 敬 史 飯 田 一 三 齊 藤 恭 士	小 山 里 司 柴 田 信 之 今 井 一 穂 桐 尾 義 之 畑 野 和 宏 西 千 秋 二 瓶 伸										
安 全 対 策 委 員 長	小 野 倫 夫												
安 全 対 策 副 委 員 長	二 瓶 伸 一	及 川 亮											
安 全 対 策 委 員	岩 澤 磁 木 村 幸 西 宣 千 秋	大 井 聡 板 垣 一 今 井 穂	岡 本 浩 司 中 條 伸 義										

顧問	秋元克広 (札幌市長)	山口幸太郎 (千歳市長)	岩倉博文 (苫小牧市長)
	西江栄二 (倶知安町長)	片山健也 (二セコ)町長)	佐々木和見 (真狩村長)
大会委員長	前川洋	(札西校長)	
大会副委員長	山崎誠	神山健	
	(札西副校長)		

大会実行委員

審査委員長 二瓶伸一（帯広柏葉）

審査委員	【男子】	【女子】
	竹中 正喜（旭川北）	桐尾 義之（小樽桜陽）
	相田 敬史（旭川東）	飯田 一三（釧路湖陵）
	常田 貞彦（遺愛女子）	斉藤 恭士（市立函館）
	山納 秀俊（小樽潮陵）	今井 一穂（江別）
	木村 宣幸（北広島）	青沼 宏（八雲）
	大井 聡（札幌工業）	

隊	長	【男子】	【女子】
		畑野 和宏（遠軽）	内海 健一（室蘭栄）

副	隊	長	【男子】	【女子】
			柴田 政二（帯広農業）	西 千秋（北星女子）
			佐々木 亮介（札幌北）	加藤 達夫（岩見沢東）

コースパイロット	中 條 伸 義（札幌南）	岡 本 幸 司（北広島）
----------	--------------	--------------

サポーター	【男子】	【女子】
	板垣 教一（江別）	藤本 和夫（小樽潮陵）
	細野 護（旭川北）	高井 勝巳（旭川工業）
	岩澤 磁（札幌西）	望月 真（えぞ山道会）

通	信	小野 倫夫（道岳連）	望月 真（えぞ山道会）
		及川 亮（札幌西）	小原 伸彦（札幌西）

ペーパーテスト 高井 勝巳（旭川工業）

天気図審査	桐尾 義之（小樽桜陽）	常田 貞彦（遺愛女子）
-------	-------------	-------------

現地本部	及川 亮（札幌西）	岩澤 磁（札幌西）
	小原 伸彦（札幌西）	田辺 孝規（札幌西）
	小林 元（札幌西）	藤原 晶（札幌西）
	松田 行矢（札幌西）	森平 裕子（札幌西）

大会補助 札幌西 山岳部員

日程表

23日（火）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	就寝																	
24日（水）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	就寝																	
25日（木）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	就寝																	
26日（金）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	就寝																	

全道大会コース概要

今回の大会で使われる風不死岳・樽前山・羊蹄山は支笏洞爺国立公園の中にある山です。公園内には支笏湖・洞爺湖という二大カルデラ湖があり、その周辺に様々な形式の火山が多数あります。特に今回登る樽前山をはじめとして、有珠山・昭和新山など活発に活動する活火山もあり、そこでは火山特有の景観を見ることができます。また、植生は針葉樹・広葉樹の混交する森林が特徴で、原始的な森林景観が残っており、その森林環境に適応したヒグマ・コノハズク・クマゲラ・エゾリスなど様々な動物もみることができます。なお、支笏湖は不凍湖としては北限にあたる点も有名です。地域的には、羊蹄山・洞爺湖・登別・支笏湖・定山溪の5つに分けることができ、そのうちの羊蹄山・支笏湖の2つの地域が今回の大会の舞台となります。

風不死岳 1102.5m ・ 樽前山 1041m

風不死岳・樽前山は上記の地域分けによると支笏湖に所属し、恵庭岳と合わせて支笏三山と言われています。最初に登る風不死岳は支笏湖の南側に位置する成層火山です。山名はアイヌ語の「トドマツのあるところ」を表す「フプウシ」から来たと言われ、コース内にもおおきなトドマツの木が散見され、鬱蒼とした森林と深く刻まれたいくつもの深い谷が特徴の山です。

コースは登山口の鉄のゲートを過ぎ、しばらくは傾斜の少ない林道歩きとなります。一合目・二合目と見やすい表示板もあり、それぞれ5分ほどで通過し、更に5分ほどで北尾根コース入り口に着きます。ここから登山道に入り、これからの標高差700m弱は、ほぼ北尾根を忠実にたどります。植生はトドマツが次第に消え広葉樹が中心となっていき、足下にはマイヅルソウやタチツボスミレなどが見られます。道は次第に急になっていき地図上の807m地点は、右から巻くようにして7合目に到着します。8合目を過ぎるとロープの張られたカ所も出てくるようになり、時折シラネアオイの群落やムラサキヤシオを見ながら慎重に登ります。9合目を過ぎると一段とやせ尾根となりロープも数カ所出てきます。やがてミヤマハンノキの傾斜の緩やかな道となり頂上に出ます。頂上からは恵庭岳や樽前山はもちろんのこと、翌日登る予定の羊蹄山なども眺めることができます。ここからは顕著なコブを一つ乗っ越し笹原を963mコブを目指し下ります。さらにクサリ場なども出てくるので慎重に下りダケカンバやミヤマハンノキの間を抜けるとやがて、砂礫のコルに出て樽前山7合目ヒュッテへの分岐へと行き着きます。ここからは荒涼とした道を樽前山の外輪を目指して20分ほどの登りとなりますが、周囲をよく見るとこの時期には、マルバシモツケ・シラタマノキ・エゾイソツツジなどの花も見られることでしょう。外輪からは993mの西山へ向かう右の道を分け、左の東山へと向かう道をたどり30分ほどで東山頂上に立つことができます。平坦な火口原の広がり、その中央にそびえる巨大なドームが印象的です。下山は整備された緩やかな砂礫の下りで、ウコンウツギなどの咲くお花畑を見ながらミヤマハンノキの林を抜けると7合目ヒュッテの駐車場へ出ることができます。

羊蹄山 1898m

羊蹄山は円錐形の成層火山で後志羊蹄山（しりべしやま）として、日本百名山にも名を連ねています。頂上には大小3つの火口があり、真狩コース途中には「南コブ」と呼ばれる溶岩ドームが、倶知安コースには「半月湖」と呼ばれる爆裂火口後に水の溜まった湖などもあり、羊蹄山の火山としての成り立ちを語る地形が多く見られます。また、頂上は倶知安町・京極町・喜茂別町・ニセコ町・真狩村の境となっており、登山道も倶知安（比羅夫）コース・京極コース・喜茂別コース・真狩コースの4コースが整備されています。今大会ではそのうち、登りで真狩コースを、下りで倶知安（比羅夫）コースを利用します。羊蹄山の植生は、麓から山頂まで、広葉樹林帯、針広混交林帯、ダケカンバ帯、ハイマツ帯、高山帯（お花畑・風衝地・ガレ場・雪田）に区別され、高山帯は貴重な高山植物が多く見られるため、国の天然記念物にも指定されています。また羊蹄山は、生き物たちにも豊かな生息環境を提供し、エゾクロテン・エゾモモンガ・エゾユキウサギなど多くのほ乳類や、130種以上の野鳥も生息しています。

登りで使う真狩コースの登山口は、皆さんが宿泊する羊蹄山自然公園キャンプ場の奥にあります。林の中の歩きやすい道を30分ほどでおよそ1合目半、南コブとの分岐を過ぎます。あまり展望のきかない道が続き2合目半で一度、道が大きく右に向いたあと、3合目に向かう所でやや樹林帯が切れ、涼しい風にあたる道がしばらく続きます。やがて、ネマガリタケの滑りやすいカ所もある道をトラバース気味に斜上して4合目へ。ここからはグイグイと急なジグザグの道を登っていきます。右手に顕著な沢の崩落の見える場所を過ぎると間もなく6合目に着きます。8合目あたりから道もトラバース気味となり、一部登山道の崩れた所なども通過し、展望のきくガレ場に出ます。イワブクロ・イワギキョウなどの花も楽しみながら進むと避難小屋から倶知安コースへと通じる道と頂上へと向かう道との分岐にあたる9合目に着きます。分岐からは小さな尾根を登りお花畑の斜面を登って外輪へと出ることができます。外輪に出た所には大きな岩が標識としてあり、晴れていれば父釜という一番大きな火口を挟んで、向こう側に頂上も見ることができます。分岐からは左に進み、旧小屋跡の分岐から右に進み、父釜・母釜の間を通り京極コースとの分岐を過ぎると間もなく頂上です。分岐の多い頂上外輪山及び火口周辺は、視界の悪い時には間違えないよう注意が必要です。頂上には、晴れていれば南に噴火湾、北に日本海を見おろし、支笏三山はもちろん、ニセコや札幌方面の山々などが見渡せるすばらしい展望が待っています。また火口周辺は高山植物も抱負でオノエリンドウはじめメアカンキンバイ・キバナシャクナゲはじめ多くの花が見られます。下山は倶知安コースを下りますが、9合目近辺のガレ場は視界が悪いと迷いやすいので注意が必要です。6合目まではきついジグザグの下りが続き、あたりはハイマツ・ダケカンバにナナカマドなども見られます。5合目からはエゾマツの大木も現れ、目を引きます。その後、やや平坦になった道が2合目から急な下りとなります。そこを下りきるとヒカリゴケの見られる風穴があり、やがて1合目が現れます。ここからは緩やかな道を進み、トドマツ・カラマツの人工林が現れると、間もなく下山口の半月湖野営場となります。

先輩の踏み跡

全国大会優秀校

回	期 日	会 場	当番高校	優勝校(男)		優勝校(女)
1	1962.7.10～7.12	大雪山系	旭川東	芦 別		旭川東
2	1963.6.29～7. 1	大雪山系	上 川	札幌南	苫小牧東	芦 別
3	1964.7. 2～7. 4	ニセコ連峰	倶知安	旭川東	小樽千秋	旭川東
4	1965.7. 2～7. 4	富良野岳・十勝岳	富良野	増 毛	遠 軽	旭川東
5	1966.6.24～6.26	十勝岳・美瑛岳 美瑛富士	美 瑛	旭川東	増 毛	旭川東
6	1967.6.22～6.24	樽前山・風不死岳 恵庭岳	苫小牧東	旭川東	北見柏陽	旭川東
7	1968.7. 4～7. 5	ウベペサンケ	帯広三条	旭川東	芦 別	旭川東
8	1969.7. 3～7. 5	芦別岳・富良野西岳	芦 別	芦 別	帯広柏葉	芦 別
9	1970.7. 2～7. 4	横津岳・駒ヶ岳	遺愛女子 函館西	標 茶	帯広農業	遺愛女子
10	1971.7. 1～7. 3	大雪山系	旭川商業	芦別工業	旭川東	芽 室
11	1972.6.29～7. 1	知床山系	北見柏陽	旭川東	北見北斗	標茶農業
12	1973.6.28～6.30	十勝連峰	旭川東	深川西	函館有斗	旭川東
13	1974.7. 4～7. 6	天狗岳・余市岳	北海道工業	函館有斗	増 毛	芽 室
14	1975.6.26～6.28	羅臼岳・羅臼湖	標茶農業	標茶農業	増 毛	標茶農業
15	1976.6.23～6.25	夕張岳(日陰の沢)	美唄工業	美唄工業	小樽工業	標茶農業
16	1977.6.22～6.24	天塩岳	士 別	旭川東	北見北斗	標茶農業
17	1978.6.28～6.30	大千軒岳	函館有斗 函館白百合 函館ラ・サール	標茶農業	小樽工業	函館白百合
18	1979.6.28～6.30	室蘭岳・カムイヌプリ	室蘭工業	八 雲	旭川東	函館白百合
19	1980.6.26～6.28	ニセコ連峰	小樽工業	北見北斗		北見北斗
20	1981.6.25～6.27	空沼岳・札幌岳	札幌慈恵	富良野工業	北見北斗	函館白百合
21	1982.6.23～6.25	夕張岳	夕張工業	檜山北		旭川商業
22	1983.6.23～6.25	暑寒別岳・雨竜沼	砂川南	富良野工業	八 雲	北見北斗
23	1984.6.21～6.23	富良野岳・芦別岳	富良野工業	帯広柏葉		北見北斗
24	1985.6.20～6.22	斜里岳・羅臼岳	網走南ヶ丘	東 川	網走南ヶ丘	網走南ヶ丘
25	1986.6.26～6.28	雄阿寒岳・雌阿寒岳 阿寒富士	標 茶	北見北斗		標 茶
26	1987.6.17～6.20	羊蹄山・アンヌプリ チセヌプリ・目国内岳	札幌新陽	小樽工業	北見北斗	旭川東栄
27	1988.6.23～6.25	ウベペサンケ山・ニベソツ山	帯広柏葉	小樽工業		旭川東栄
28	1989.6.22～6.24	駒ヶ岳・狩場山	函館中部 檜山北 遺愛女子	富良野工業	小樽工業	旭川東栄
29	1990.6.21～6.23	幌尻岳・トッタベツ岳	苫小牧東 静 内	小樽工業		旭川東栄
30	1991.6.20～6.22	羊蹄山・目国内岳・雷電山	倶知安	小樽工業	札幌稲西	江 別
31	1992.6.18～6.20	富良野岳・芦別岳	富良野	小樽工業		江 別
32	1993.6.23～6.25	夕張岳	夕張緑ヶ丘実業	旭川東	富良野工業	旭川東
33	1994.6.23～6.25	硫黄山・羅臼岳	北見北斗	旭川東		旭川東
34	1995.6.21～6.23	余市岳・無意根山	札幌稲西	旭川東	富良野工業	札幌南
35	1996.6.27～6.29	沼ノ原・トムラウシ山	帯広農業	札幌南		江 別
36	1997.6.19～6.21	恵山・海向山 白水岳～遊楽部岳	函館東 檜山北 函館ラ・サール	札幌南	札幌工業	北見北斗
37	1998.6.24～6.26	アポイ岳・イドンナップ岳	静 内	旭川東		北見北斗
38	1999.6.17～6.19	十勝連峰	富良野緑峰	札幌南	旭川東	北見北斗
39	2000.6.21～6.23	斜里岳・雄阿寒岳	釧路湖陵	札幌南		北見北斗
40	2001.6.20～6.22	羊蹄山・ニセコ山系	小樽潮陵	札幌南	札幌工業	旭川東
41	2002.6.26～6.28	美唄山・樺戸山地	美唄工業	札幌工業		北見北斗
42	2003.6.25～6.27	知床硫黄山・羅臼岳	北見北斗	北見北斗	札幌南	札幌南
43	2004.6.23～6.25	十勝幌尻岳・伏美岳 ピバイロ岳	帯広農業	江 別		北見北斗
44	2005.6.22～6.24	無意根山・羊蹄山	札幌南	札幌南	江 別	八 雲
45	2006.6.21～6.23	白水岳・狩場山	函館ラ・サール	札幌南		八 雲
46	2007.6.20～6.22	ペンケヌーシ岳 チロロ岳	静 内	札幌南	北見北斗	北見北斗
47	2008.6.25～6.27	美瑛岳・旭岳	旭川東	旭川東		北見北斗
48	2009.6.24～6.26	斜里岳・雄阿寒岳	釧路湖陵	旭川東	札幌北	旭川東
49	2010.6.23～6.25	神威岳・烏帽子岳 札幌岳・空沼岳	札幌稲西	札幌北		旭川東
50	2011.6.21～6.24	岩内岳～目国内岳 羊蹄山	小樽桜陽	札幌北		旭川東
51	2012.6.26～6.29	ピンネシリ 南暑寒岳～暑寒別岳	岩見沢東	札幌北		北星学園女子
52	2013.6.25～6.28	斜里岳 羅臼岳	遠軽(協力校:北見北斗)	北見北斗		旭川東
53	2014.6.24～6.27	ウベペサンケ山・ニベソツ山	帯広柏葉	帯広柏葉		帯広柏葉
54	2015.6.23～6.26	風不死岳 樽前山 羊蹄山	札幌西			

大会参加校数一覧

支部名	全道大会						支部大会					
	参加校数			参加者数			参加校数			参加者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
札幌	4	3	7	16	12	28	9	4	13	68	17	85
室蘭	1	1	2	4	4	8	/	/	/	/	/	/
小樽	1	1	2	4	4	8	2	2	4	18	7	25
南空知	1	/	1	4	/	4	/	/	/	/	/	/
旭川	2	1	3	8	4	12	5	3	8	62	15	77
北見	1	1	2	4	4	8	2	2	4	24	13	37
十勝	2	2	4	8	8	16	4	2	6	40	9	49
釧根	1	1	2	4	4	8	3	2	5	36	9	45
函館	1	1	2	4	4	8	3	1	4	24	9	33
計	14	11	25	56	44	100	28	16	44	272	79	351

全道高校体育大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

北海道高等学校体育連盟
平成 27 年度全道高校体育大会当番校

北海道高等学校体育連盟及び平成 27 年度全道高校体育大会当番校は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下の通り対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 当番校が認めた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、当番校が作成する大会報告書（以下報告書という）に掲載されます。
- (3) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 当番校が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 当番校が認めた報道機関が撮影した映像が中継または録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD 等に編集され、配付されることがあります。
- (3) この他、北海道高等学校体育連盟の許可に基づき、記念写真等が販売されることがあります。

4 当番校としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (3) 大会役員、競技役員、運営委員、その他各種委員や補助員、当番校と大会に関する契約をしている者、大会運営関係者及び会場にいられた観客の皆様につきましては、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (4) 記念写真等の販売について業者から直接当番校へ問い合わせがあった場合は、一括道高体連事務局で対応しますので業者へご連絡ください。
- (5) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、北海道高等学校体育連盟事務局までご連絡ください。

連絡先・問い合わせ先
北海道高等学校体育連盟事務局
011 - 214 - 1193

祝

第 54 回 北海道高等学校登山選手権大会
兼

第 59 回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会

2015 年 6 月 23 日～26 日

風不死岳・樽前山・羊蹄山

北海道・山・店 秀岳荘

<http://www.shugakuso.com>

